

平成30年度 陽南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

日本国憲法及び教育基本法の本質、栃木県及び宇都宮市の教育目標、そして児童の実態や社会・地域の要請を受け、人間尊重の教育を基盤とした本校の教育目標を次のように設定する。

(1) 基本目標

心身ともに健康で創造性に富み、心豊かで実践力のある児童を育成する。 【自分に自信をもてる子を育てます】

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・自ら学び、ねばり強く努力する児童 (楽しく学ぶ子)
- ・思いやりをもち、助け合う児童 (仲よく助け合う子)
- ・健康と安全に留意し、元気に活動する児童 (元気に活動する子)

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立70年の陽南小学校のよき伝統と校風を引き継ぎ、すべての教職員の力を結集するとともに学校内外の物的・人的資源を最大限に生かし、児童一人一人の確かな成長を図る学校づくりを進める。その理念と目指す学校像を次のように設定し、教育活動の充実につなげる。

理念

- ・安心と楽しさのある学校づくり
- ・ともに伸びる学校づくり
- ・家庭や地域から愛される学校づくり



学校像

- ・確かな学力を育む学校
- ・豊かな心を育む学校
- ・健康な身体を育み安全な学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

全職員が信頼と和を基盤とした協働体制のもと、教育目標や学校のあるべき姿の具現化を目指し、次の7つの方針をもとに学校経営にあたる。

- (1) すべての児童の人権を大切に、児童が教育活動の中で自分のよさや個性を発揮し自己肯定感や自己有用感を感じることができる学校づくりに努める。
- (2) ○小中一貫としての義務教育9年間を通じた系統的な指導を通して、確かな学力の向上を目指し、基礎・基本の確実な定着と「楽しく・わかる・できる授業」作りに努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、児童一人一人が生き生きと安心して学校生活を送る中で、児童が自ら健康や体力等の増進に取り組む学校づくりに努める。
- (4) 学校課題研修や教師の自己研鑽に基づいた校内研修を充実させ、教職員個々の指導力及び資質の向上を図るとともに、一人一人の能力や特性を生かしながら、児童とともに伸びる学校づくりに努める。
- (5) ○「地域の学校」として学校・家庭・地域社会が互いに連携し、信頼関係を深めながら地域の教育力を高めるとともに、陽南地域学校園および小中一貫教育の積極的な取組により学校力の向上を図る。
- (6) 学校・家庭・地域社会が一体となり教育活動の充実を図るとともに、積極的に情報を発信する開かれた学校づくりに努める。
- (7) 働き方改革を意識した教職員の労働時間の把握と勤務内容の適正化・効率化を進める。

【陽南地域学校園教育ビジョン】

地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子どもの自主的な活動を通して～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・学校経営のビジョンを教職員で共通理解し、協働して取り組む体制づくりを進める。
- ・学校と家庭・地域の双方向的な関係を築き、学校内外の教育的資源の有効活用を図る。
- ・陽南地域学校園および小中一貫教育の積極的な取組により学校力の向上を図る。

【学習指導】

- ・UDL (Universal Design for Learning) の視点を取り入れ、一人一人が「楽しい・わかる・できる」授業を行うことで、主体的に考え、学び合うことのできる児童の育成を図る。
- ・一人一人の児童が安心感をもって自己表現ができ、互いのよさを認め合える集団をつくることにより、自分のよさを発揮して生き生きと学び合うことのできる児童の育成を図る。
- ・家庭や地域との連携を図り、一体となって児童の学力向上に努める。

【児童生徒指導】

- ・「陽南生活のきまり」の振り返りやあいさつ運動を通して基本的な生活習慣の育成を図る。
- ・Q-Uを生かした学級経営を行い、いじめの早期発見・早期解決など全校体制でいじめ対策に重点的に取り組み、望ましい集団作りに努める。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・バランスの良い食事と健康について理解させ、食事のマナーや栄養素などについての意識を高め、望ましい食習慣の育成を図る。
- ・生涯にわたり健康なからだづくりができるように、体育主任、栄養教諭、養護教諭が連携して継続的な指導を行い、健康・体力の向上を図る。
- ・学年だより・食育だより等で学校での取組や成果を知らせ家庭との連携強化を図る。また、学校薬剤師・警察スクールサポーター・消防署等の関係機関や地域と協力して出前授業や研修等を行うなど連携を図る。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価				
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「私は、今の学校が好きです。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 「学校全体に活気があり明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 児童一人一人が所属感と安定感をもった居がいのある学級作りに向けて、Q-U検査やアンケート・日常の交友関係の観察により、児童の実態を把握し、問題があるときはすぐに対策を講じる。学年間の連携も図る。</p> <p>② いじめの早期発見のため、「学校をよりよくするアンケート」を6月・10月・2月に実施し、実態を把握することで、児童が明るい気持ちで生活できるようにしていく。</p> <p>③ いじめ・不登校の早期発見・早期対応・解決に向けて、児童指導委員会学年会・ブロック会で情報交換し、教育相談を6～7月と12月に実施する。また、学校の取組だけで改善することが困難な家庭環境が背景にあると思われる不登校については、関係機関（市教育センター・民生委員・主任児童委員・児童相談所・市役所子ども課）と連携をするとともに、各担当からも働きかけを行うようにして、改善を図る。</p> <p>④ 日常の指導で問題が起きたときは、児童指導主任・安全主任・学年主任等と連携を図って直ちに対策を話し合い、対応策を学年に持ち帰って各クラスで指導をするなどし、素早い対応に努める。また、職員会議の折に児童指導委員会を開き、各学年の児童の様子を伝え合い、全教職員が共通理解のもと、児童育成に努める。</p>		<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 392 1484 470"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>87.7%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>93.2%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・日常指導の中で、各種アンケートや教育相談を通して児童の実態把握に努めたり、問題発生時には共通理解の下早期対応を図り、指導に当たったりしてきた。保護者を始めとする来校者に対しても進んで挨拶をし、明るい対応を心掛けた。 ・児童・保護者ともに肯定的回答率が、指標を上回った。児童の肯定的回答率が昨年同様であることから、不安や不満足を抱えている児童が一定数存在することが考えられる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に引き続き、児童一人一人の様子に目を配り、些細な変化を見逃さない姿勢を教師が保つと共に、問題発生時には、学校全体で連携を図り、早期発見・早期支援に努める。全体での情報交換も引き続き行い、連携して対応できるようにしていく。 	児童の肯定的回答率	87.7%	保護者の肯定的回答率	93.2%
	児童の肯定的回答率	87.7%						
保護者の肯定的回答率	93.2%							
<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 「先生方は大切なことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答率</p>	<p>① 学校教育目標具現化に向けた学校経営のもと、一人一人を大切に、児童のよさを認め伸ばす学級経営に努める。</p> <p>② 児童の理解度をもとに、具体物の操作や教材教具の工夫や算数の習熟度別学習を取り</p>		<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 1881 1484 1960"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>90.6%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が活かされるような学級経営に取り組んだり、教材教具やパソコン、インターネット等の映像資料の有効活用、算数の習熟度別学習が「分 	児童の肯定的回答率	96.8%	保護者の肯定的回答率	90.6%	
児童の肯定的回答率	96.8%							
保護者の肯定的回答率	90.6%							

<p>80%以上 「教職員は、教えるべきことを熱心に指導している。」 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>入れることにより、「分かる授業」を展開し、基礎・基本の確実な定着を図る。 ③ 教師自身の授業力向上に向けて、一人一授業を実践し、常に学び合う場を設定する。 ④ 授業参観後の懇談会や学年だより等で、学校で指導していること、家庭で指導してほしいことを伝え、協力して指導する。</p>	<p>かる授業」につながったりしたことで、児童・保護者ともに肯定的回答率が、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・引き続き、全職員共通理解のもとに一致して指導に当たり、児童のよさを伸ばすと共に「分かる授業」の展開に努める。学年だよりや懇談会等で指導内容を保護者に伝えたり、児童への称賛及び保護者へのきめ細めな連絡を行ったりして保護者と連携を図りながら共に児童を育成することを共有する。</p>				
<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>① 学校の決まり「陽南のよい子」に従って、全教職員の共通理解のもと常時指導を継続し児童にきまりやマナーが身に付くようにする。 ② 「陽南授業・生活のきまり」をもとに、児童に自分の生活を振り返らせ、規範意識を高め、判断力・実践力の育成を図る。(振り返りは学年に応じて、年3回実施) ③ 生活目標を朝の会等で唱和させて意識化を図るとともに、あいさつ、姿勢、言葉遣い、返事などの目標を焦点化し、スモールステップによる定着化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1011 689 1485 768"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>75.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>84.8%</td> </tr> </table> <p>・児童・教職員ともに肯定的回答率が指標を下回ったが、教職員については、昨年度よりも10.7ポイント上回っており、教職員の規範意識の徹底への意欲の高まりが見られる。児童の実態については、学年差、個人差も見られ引き続き、校内で統一した指導観をもつ必要がある。 【次年度の方針】 ・今後も「陽南授業・生活のきまり」の実施と振り返りをもとに、めあてをもって、規範意識を高めさせ、よくできたときには具体的に賞賛していく。</p>	児童の肯定的回答率	75.9%	教職員の肯定的回答率	84.8%
児童の肯定的回答率	75.9%					
教職員の肯定的回答率	84.8%					
<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 十分な教材研究のもと、本時の学習目標を明確にするとともに、児童の理解度に合わせた作業用紙やヒントカード・ヒントコーナー・教材教具を準備し分かる授業に努める。 ② 授業の中で児童の意見を取り上げ、認め励ますなどして生かすことで、自信をもって自分の考えを表現したり伝え合ったりすることができる児童の育成を図る。 ③ 少人数担当との連携を図った学年習熟度別学習や学級内習熟度別学習・コース別学習を行ったり、単元によって学習体制を替えたりするなど、学習形態や場の設定を工夫し、効果的な学習の進め方を追究することにより、児童の理解が深められるようにし学力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1011 1310 1485 1388"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>84.8%</td> </tr> </table> <p>・児童・保護者の肯定的回答率は、共に指標を上回っており、特に児童については、15.3ポイント上回っている。教員一人一人が、学校課題や一人一授業などを通し、「わかる・できる」授業を目指した結果だといえる。 【次年度の方針】 ・次年度も引き続き、一人一人が「わかる・できる」授業づくりに努める。一授業については、ブロックの先生の授業はなるべく見にいけるようにし、若手の教員のさらなる育成に努める。 ・少人数指導については、うまく機能していない学年もあった。今後も、特に学力の低い児童の個別指導を行い学力の底上げを計っていく。</p>	児童の肯定的回答率	95.3%	保護者の肯定的回答率	84.8%
児童の肯定的回答率	95.3%					
保護者の肯定的回答率	84.8%					

- ④ 計画的な板書を心がけ、児童が課題の確認や共有，焦点化が図れるようにするとともに学習内容の振り返りの場面で活用できるよう構造的な板書を工夫し，授業力の向上に努める。
- ⑤ 週1回，朝の学習に算数における数と計算の学習を系統的に行うパワーアップタイムを設け，基礎基本の定着を図る。

A5 教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。
【数値指標】
 「先生方は，いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」
 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上
 「学校は，いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」
 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上

- ① 人権週間、「いじめゼロ・にっこり集会」等を通して，互いを思いやることの大切さを理解し自分たちの生活をよりよいものにしていこうという意欲を高める。
- ② 教育相談やアンケート調査を通して、「いじめ」や「いじめにつながる行動」の早期発見に努めるとともに，いじめが疑われる事案が把握された場合は，いじめ防止対策委員会を開催し関係教職員が組織的に連携し，家庭の協力も得ながら解決していく。
- ③ 「学校をよりよくするアンケート」を6月・10月・2月に実施し，いじめを抑止するとともに把握した実態を懇談会や学年だより等で保護者に周知し家庭の理解を得ながら，児童にいじめが許されない行為であるという意識を定着させる。
- ④ 学年だよりの「にっこり広場～いじめゼロの楽しい学校を目指して」というコーナーで教育活動の様子を発信する。
- ⑤ いじめ防止に関する道徳の授業を全学級行い，懇談会で説明する。

【達成状況】

児童の肯定的回答率	96.1%
保護者の肯定的回答率	86.7%

・人権週間やいじめに関する集会，教育相談等を通して，児童の人権意識を高めたりいじめの早期発見に努めたりしたことで，児童の肯定的回答率は16.2%，保護者の肯定的回答率は6.7%指標を上回った。また，保護者の肯定的回答率は，昨年度と比べると10.3%向上していることから，学年だよりの「にっこり広場～いじめゼロの楽しい学校を目指して」というコーナーで教育活動の様子を発信したことが成果として表れている。

【次年度の方針】

- ・「学校をよりよくするアンケート」を12月にも行い，年4回の実施とし，いじめ等の早期発見・早期解決に努める。
- ・学校の「いじめ防止」に向けた取組を学校だより，学年だより等を通じて，積極的に家庭や地域に発信していく。

A6 日課，授業，学校行事などの教育課程は，適切に実施されている
【数値指標】
 「私の学校生活や様々な活動は充実している。」
 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上
 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上

- ① ゆとりと充実感のある学校生活を目指し，行事の精選をする。
- ② 学校行事や児童会活動に，児童が主体的に活動する場面を多く取り入れ，児童の主体性や企画・運営力を育てる。
- ③ 宇都宮市小中一貫教育の方針に従って，適切な時数を確保し，夏季休業中1日，土曜授業1日を含めて，知・徳・

【達成状況】

児童の肯定的回答率	89.2%
教職員の肯定的回答率	100%

・学校行事や学年行事，児童会活動などにおいて，意欲的に行事に取り組めるように児童の主体的な活動を推進したり，振り返りの機会を設け，自己成長の場面を大切にしたりしたため，教職員や児童の肯定的回答率が指標を上回った。

	<p>体の調和のとれた教育課程の編成・実施に努める。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も、児童の実態に適した行事になるよう行事を精選したり、行事に対する児童の主体性や意欲が十分高められるように配慮したりしながら実施していくようにする。 				
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」</p> <p>⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p> <p>⇒地域の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 月1回配布の学校だより（地域にも回覧）・学年だより・保健だより・図書館だより・給食だよりや学校ホームページ等を通して、保護者や地域住民に学校の具体的な取り組みを積極的に発信し、学校教育への理解が深まるようにする。</p> <p>② 年度当初に「学校経営方針」を保護者に配布し、全保護者に周知するとともに、オープンスクールや学校行事の公開により開かれた学校づくりの推進に努める。</p> <p>③ P T A 運営委員会における学校経営方針の説明や学級懇談における学級経営方針の説明などにより保護者が学校教育への理解が深められるようにするとともに家庭の協力を求めていく。</p> <p>④ 出前講座・音楽集会・児童集会等の教育活動を今まで以上に保護者に積極的に公開し、学校教育の現状を見ていただくことにより、本校の教育活動への理解を深めるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>98.2%</td> </tr> <tr> <td>地域の肯定的回答率</td> <td>100%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各種の便りやホームページのこまめな更新を通して、積極的な情報発信を心掛けたことにより学校教育への理解が深められたため、保護者・地域の肯定的回答率が高く、指標をそれぞれ18.2%、20%上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年だより等にホームページの告知を載せることで、保護者・地域住民の関心を高めるようにする。 ・行事のホームページへのアップを行うように、係が声掛けを行う。 ・公開する行事等について学年だよりなどで、事前に情報を発信していく。 	保護者の肯定的回答率	98.2%	地域の肯定的回答率	100%
保護者の肯定的回答率	98.2%					
地域の肯定的回答率	100%					
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」</p> <p>⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p> <p>⇒地域の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① P T A による水曜日下校時の立哨・みまもり隊、地域の方々による青色パトロール隊等に協力を依頼するとともに、教職員が交代で下校パトロールを実施し、登下校時における児童の安全確保に努める。</p> <p>② 地域協議会の組織を有効活用し、学校支援コーディネーターを中心に、学校を支援するボランティアを募り、学校・家庭・地域との連携、協力を深めるとともに児童の教育・安全の充実を図る。</p> <p>③ 「人とのふれ合い活動」を積極的に推進し、地域の教育的資源（地区市民センター・独居老人・幼稚園・保育園）</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>94.6%</td> </tr> <tr> <td>地域の肯定的回答率</td> <td>100%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・P T A による下校時の立哨・見守り隊、地域の方々による青色パトロール隊などを実施し、児童の安全確保に努めた。また、「まつぼっくり」「CBA」の読み聞かせや、「研究授業時の自習見守りボランティア」「ミシンボランティア」を地域協議会にお願いしたりした。さらに、出前講座の実施や「昔遊び」等の地域の方との交流を行った。そのため、保護者・地域の肯定的回答率が高く、指標をそれぞれ14.6%、20.0%上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校・家庭・地域・企業と 	保護者の肯定的回答率	94.6%	地域の肯定的回答率	100%
保護者の肯定的回答率	94.6%					
地域の肯定的回答率	100%					

	<p>を活用して、コミュニケーション能力の育成や相手を思いやる心・助け合う心の育成に努める。</p>	<p>の連携を図り、教育活動を充実させていく。</p>				
<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 「学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすい。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 校内掲示の決まりに合わせて、室内は整然と整えられ、清潔感あふれ落ち着いた温かい雰囲気の中で、学習に集中できるように努める。 ② 縦割り班編成後、清掃場所に適切な数の班を割り当てる。毎日の清掃時には教職員も一緒に清掃し、その場でも発達段階に応じた具体的指導を行う。また清掃マニュアルを見直したり、児童が清掃の方法を学ぶ場を設定したりすることにより、児童の清掃スキルの向上を促す。 ③ 毎月の施設・設備の安全点検により、修繕・補修を迅速に行い、安全安心な学習環境を整える。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 295 1485 371"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>85.8%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>81.8%</td> </tr> </table> <p>・児童・教職員の肯定的回答は、どちらも指標を上回っているが、教職員の肯定的回答率が、昨年度より、8.2ポイント下回ってしまった。これは、校舎の老朽化による校内環境の影響も考えられる。縦割り班清掃については、見本となる高学年児童も多いが、そうではない児童もいる。縦割り班がよりよい教育的効果の現れるような清掃の持ち方を検討する必要がある。 【次年度の方針】 ・マニュアルに沿った清掃の仕方の指導を徹底し、高学年児童のリーダーシップを育てられるような場を作っていく。清掃班の持ち方については、改善する。 ・毎月の安全点検を今後も計画的に行い、速やかに修繕等が進められるようにする。</p>	児童の肯定的回答率	85.8%	教職員の肯定的回答率	81.8%
児童の肯定的回答率	85.8%					
教職員の肯定的回答率	81.8%					
<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒6年児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 小中一貫教育のカリキュラムを充実させる。(9年間を見通した年間指導計画の作成) ② 小中乗り入れ授業を実施し地域学校園の小中の交流を促進する。 ・陽南中学校の先生による6年生への出前授業 ・中学1年生に関わった先生の陽南中学校での授業 ③ 陽南小児童会と陽南中生徒会が協力して「あいさつ運動」を実施する。 ④ 陽南地域学校園5校(陽南中、陽光小、緑が丘小、横川西小、陽南小)による道徳の授業研究・研修の取組を協同で行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 1146 1485 1223"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>90.9%</td> </tr> </table> <p>・小中乗り入れ授業や小中合同のあいさつ運動、6年生の中学校訪問等を行ってきた。6年児童の肯定的回答率は昨年より下回ったが、目標の指標は上回った。保護者の肯定的回答率は、指標を10.9%上回った。 【次年度の方針】 ・小中の乗り入れ授業やあいさつ運動において、小中で交流している意義などを担任が指導したり、小中一貫教育や地域学校園の活動内容を知らせたりしていく。</p>	児童の肯定的回答率	80.2%	教職員の肯定的回答率	90.9%
児童の肯定的回答率	80.2%					
教職員の肯定的回答率	90.9%					
<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」</p>	<p>① ALTと担任とのTTで、効果的な外国語活動の展開を図る。 ② 個別の支援や配慮が必要な児童をかがやきルーム指導員と連携を図りながら、支援していく。 ③ 特別支援教育支援員と協同して一人一人により丁寧で細や</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 1796 1485 1834"> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>81.8%</td> </tr> </table> <p>・かがやきルーム指導員や特別支援教育指導員との指導体制を整え、それぞれ役割を分担したり連携を図ったりしながら進めてきた。外国語活動のALTの活用やSCの活用により、担任の業務の縮減をはかるよう努めてきたことで教職員の肯定的回答率が、指標を</p>	教職員の肯定的回答率	81.8%		
教職員の肯定的回答率	81.8%					

	⇒教職員の肯定的回答率 80%以上	<p>かな指導を行う。</p> <p>④SCが専門的観点から、本人や保護者に支援を行うとともに、担任へも助言を行う。</p>	<p>上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も専門性を有する学校スタッフの職務や役割をもとに有効な活用の仕方を整えて、教育効果を高められるように努めていく。 				
	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>①ALTと担任と事前に打ち合わせを行い、授業づくり、教材づくりを協同で行う。</p> <p>②かがやきルーム指導員と密に連絡を取り合い、本人の困り感やつまずき、必要な支援の共有化を図る。</p> <p>③特別支援学級一人一人の個別の支援について、常に共有を図り、短期目標や中・長期目標の達成に協同して臨む。</p> <p>④SCと連携を図り、本人や保護者の悩みや困り感を共有するとともに、専門的観点のアドバイス等を受ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>97.0%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 専門性を有するスタッフと担任が進んで情報交換をしたり、会議等で共通理解を図りながら連携して取り組んできたことが、有効な支援へとつながっている。そのため、教職員の肯定的回答率が、指標を17%上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も専門性を有するスタッフと情報を共有、連携し、その専門性を生かした支援につなげられるようにしていく。 	教職員の肯定的回答率	97.0%		
教職員の肯定的回答率	97.0%						
	<p>B1 安全に行動できる資質や能力を育成するために、関係機関と連携して様々な取り組みを実施する。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「自分は「安全」や「保健」の学習で、安全に行動すること・健康に害があること・やってはいけないことが分かって、正しいことをやろうと思う。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答率 90%</p> <p>「児童は「安全」や「保健」の学習で、安全に行動すること・健康に害があること・やってはいけないことが分かって、正しいことをやろうとしている。」</p> <p>⇒保護者の肯定的回答率 80%</p>	<p>①安全に行動できる資質や能力を育成するために、より具体的・実践的な取り組みをしていく。特に自転車の乗り方に関しては繰り返し指導する。</p> <p>○各学年で実施（警察と交通安全教）</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯教室〔警察スクールサポーター〕（1年） 非行防止教室〔防犯会社〕（3年） 自転車免許講習（4年） 防犯教室〔警備会社〕（5年） 喫煙防止教育〔学校薬剤師〕（5年） スマホ・携帯電話についての講座〔市教育委員会〕（6年） 薬物乱用防止教室〔警察〕（6年） <p>○全校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察スクールサポーターと不審者対応避難訓練 消防署と地震対応避難訓練 交通安全教室〔県・くらし安心安全課〕 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>86.8%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 児童及び保護者の肯定的回答率が、昨年より下回ったが、目標の指標は上回っている。さらに、教職員の肯定的回答率は90%を超え、今年度も取組が充実していたことが分かる。 <p>【次年度の方針】</p> <p>学校独自の項目として、特にB1の項目を設けなくてもよいのではないか。</p>	児童の肯定的回答率	92.0%	保護者の肯定的回答率	86.8%
児童の肯定的回答率	92.0%						
保護者の肯定的回答率	86.8%						
生活	<p>A13 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」</p>	<p>①全職員が率先してあいさつし、学級輪番制によるあいさつ運動を通年実施し、児童会と協力しながら元気なあいさつの意識化を図るとともに習慣化を図る。</p> <p>②あいさつについて児童の意</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>68.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>72.7%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の肯定的回答率は、昨年度より4.4%向上したものの、指標を11.1%下回った。教職員の肯定的回答率は、 	保護者の肯定的回答率	68.9%	教職員の肯定的回答率	72.7%
保護者の肯定的回答率	68.9%						
教職員の肯定的回答率	72.7%						

	<p>⇒保護者の肯定的回答率80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<p>識化を図るため「あいさつをする意味」に言及し、学級指導や授業などで継続的に指導する。また、意欲向上のために、「あいさつ表彰」を実施する。さらに家庭での指導も学年だより等で呼びかけていく。</p> <p>③ 高学年児童が下級生の模範となれるよう指導の手立てを工夫し、児童同士のあいさつへの意識を高める。</p> <p>④ 家庭や地域学校園、地域協議会と連携して、あいさつ運動を推進する。</p>	<p>昨年度より 11.2%下がり、指標を 7.3%下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全職員が率先してあいさつ」を徹底し、手本を示したり、「あいさつスタンプカード」等を取り入れることで、あいさつをする意識を高める。 ・児童会主催のあいさつ運動を定期的実施していく。 				
	<p>A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」 ⇒児童の肯定的回答率80%以上 「児童は大人に対して、適切な言葉づかいをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<p>① 生活目標で時と場に応じた「言葉づかい」について取り上げ、身に付くまで時間をかけて指導していく。</p> <p>② 道徳や学級活動の時間を活用して、相手の気持ちを考えた言葉づかいや話し方を段階的に指導することにより正しい言葉づかいの定着化を図る。</p> <p>③ 言語環境を整えたり、ふわふわ言葉を意識させる掲示物を作成したりして、児童の意識化を図っていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>75.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>69.7%</td> </tr> </table> <p>・児童・教職員ともに、肯定的回答率が、指標を下回った。昨年度と比べると、児童では、2ポイント上回ったが、教職員では4.5ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、人権週間の取組や道徳の時間の指導を含め、日常的に、場に応じた話し方や人を傷つけない言葉の遣い方を具体例を挙げて指導していく。 ・保護者にも、学級懇談会や学年だよりなどで啓発をする。 ・日常生活の中で、教職員がチェックをして正しい言葉づかいを指導していく。 ・ふわふわ言葉を意識させると共に、ちくちく言葉が人を傷つける言葉であることを指導していく。 	児童の肯定的回答率	75.9%	教職員の肯定的回答率	69.7%
児童の肯定的回答率	75.9%						
教職員の肯定的回答率	69.7%						
<p>健康・体力</p>	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、休み時間や放課後などに、進んで運動している。」 ⇒児童の肯定的回答率80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<p>① 「うつのみや元気っ子チャレンジ」を奨励するとともに教科体育において効果的な補助運動を取り入れるなどし、「ミニマム」達成を通じた児童の体力向上を図る。</p> <p>② 休み時間における屋外遊びを奨励するとともに、運動に関するイベントを企画して楽しく運動する場を設け、運動習慣の定着化を図る。</p> <p>③ 各学年の「ミニマム」の内容や学校で行っている取組内容、家庭において親子で取り組める内容について、体育主任を中心として積極的に保護者へ向けて発信していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>85.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>93.9%</td> </tr> </table> <p>・児童、教職員ともに指標を上回っている。保護者は69.1%だが、昨年度より4.1%上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動委員会を中心に、縦割り班での長なわチャレンジやなわとび月間など、チャレンジ強化期間を設け、児童の運動意欲の向上を図る。 ・各学年の「ミニマム」の内容と達成状況を学年だよりや学級懇談等を通して保護者に知らせる。 	児童の肯定的回答率	85.1%	教職員の肯定的回答率	93.9%
児童の肯定的回答率	85.1%						
教職員の肯定的回答率	93.9%						
	<p>【数値指標】 A16 児童は栄養のバランスを考えて食事をしている。〔全〕</p>	<p>① オープンスクール等での朝食摂取啓発ビデオ視聴また地域学校園で作成した「食育ファイル」を通して、食の大切</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>88.4%</td> </tr> </table> <p>・肯定的回答率は、昨年度に比べて児童</p>	児童の肯定的回答率	88.4%		
児童の肯定的回答率	88.4%						

「自分は、好き嫌いなく給食を食べている。(きれいなものでも1口は食べている。)」
 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上

さを啓発していく。学級活動や家庭科の授業において、栄養教諭による食育指導の時間を設けるなど、直接的な指導を行う。

② 食育だよりを活用して食事のマナーや栄養素についての意識を高めるとともに、地域学校園で「お弁当の日」を同日開催したり、アンケートにより家庭の食への意識を把握したりしながら、食に対する意識向上を図る。

③ 学年や発達段階に応じて、食事や栄養の役割を理解し、体に必要なものを食べようとする態度を培う。

④ 味覚が育つ大切な小学期の健全な育成を図るとともに、食事を通して学校生活のさまざまなことに前向きな姿勢を養う。

が13.0%、保護者が11.5%上回った。

- ・給食の時間等に継続した指導を行ったことにより、児童の苦手なものでも少しずつ食べようする意識の高まりがうかがえる。

【次年度の方針】

- ・バランスよく食べることの大切さについて、給食指導の時間を中心に、継続して指導する。
- ・保護者に対し、育だよりを活用して朝食摂取や栄養バランス、食事のマナー等について啓発していく。
- ・食育ファイルを開校オープンスクール等に見られるようにし、保護者が食育の取組を確認できるようにする。

B5 児童は、休み時間や昼休みに進んで校庭で遊んでいる。
 【数値指標】
 「自分は、休み時間や昼休みに進んで校庭で遊んでいる。」
 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上
 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上

① 友達などと一緒に外遊びを行い、運動機能の向上やルールを守って仲良く遊ぶ心の育成を図る。

② 学級全員で遊ぶ日(おおぞらタイム)を設け、みんなで遊ぶ楽しさや体を動かす気持ちよさを味わわせる。

③ 友達やみんなで楽しく遊ぶためのルールやマナーを考え、守ることを通して、健全な社会性の育成を図る。

達成状況】

児童の肯定的回答率	78.9%
教職員の肯定的回答率	97.0%

- ・縦割り班や学級全員で遊ぶおおぞらタイムには、全員外に出て楽しく活動ができた。
- ・児童の肯定的回答率は指標を下回った。おおぞらタイム以外の昼休みは、外に出ない児童も見られた。

【次年度の方針】

- ・引き続き縦割り班や学級全員で遊ぶおおぞらタイムを設け、外遊びを奨励する。
- ・生活目標を利用して、外遊びを奨励する。

A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」
 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上
 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上

① 「だれもが楽しく、分かる授業」の展開に努め、「できる」喜びを味わわせることで、学ぶ意欲を喚起し、自ら学習に向かっていける児童の育成を図る。

② グループ討論などの話し合いの場を意図的に設定し、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、授業や活動後に振り返りの時間を設け、自分の頑張りや友達のよさを伝え合うことで、自己肯定感を高めたり友達のよさに気付いたりできるようにする。

③ 学校生活の様々な場面・時間で、その都度、話し方・敬

【達成状況】

児童の肯定的回答率	87.5%
教職員の肯定的回答率	97.0%

- ・児童・教職員の肯定的回答率はそれぞれ、指標を7.5ポイント、17.0ポイントと大きく上回っている。昨年度に引き続き、教職員一人一授業を行い一人一人が授業力向上を目指したことや学校課題研究の中で、グループ活動を積極的に取り入れた効果があったと思われる。

【次年度の方針】

- ・引き続き、授業の中にグループでの話し合い活動を取り入れ、自他の良さを認め合いながら、「できる・分かる授業」づくりを行っていききたい。また、保護

		<p>語の使い方などを指導し、聞き手を意識した話し方ができるよう指導していく。</p>	<p>者の肯定的回答率も、87.4%と前年度より3.2ポイント上回っているので、授業参観や学校HPなどで、授業の様子を公開していきたい。</p>				
	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① ポイントを明確にした「ようなん授業・生活のきまり」をもとに、落ち着いて学習する習慣を形成する。 ・授業の始まり・終わりのあいさつ ・良い姿勢 ・話の聞き方 ・片付けと次の準備 ② 話の聞き方や話し方を常時指導しながら、基本的学習習慣の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 291 1484 369"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>84.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>93.9%</td> </tr> </table> <p>・児童・教職員ともに、肯定的回答率は、指標を上回っており、昨年度より上昇している。特に教職員については、昨年度より、16.5ポイント上回った。「ようなん授業・生活のきまり」に沿って、授業中の基本的な学習習慣を繰り返し指導した効果があったと思われる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、基本的な学習習慣を校内統一して指導していく。 ・守れていない児童には、毅然とした態度で職員全体で対応に当たる。</p>	児童の肯定的回答率	84.1%	教職員の肯定的回答率	93.9%
児童の肯定的回答率	84.1%						
教職員の肯定的回答率	93.9%						
	<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 「児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 陽子連の行事「陽南子どもまつり」「陽南キャンプ」「陽南オリンピック」などに参加し、異年齢の子どもたちや地域の方々との交流を深める。 ② 地域の青少年育成会の「環境点検」や体育協会の「地区体育祭」、地域まちづくり推進協議会の「ふれあいまつり」「夏まつり」などに参加し、地域や高齢者の方々との交流を図る。 ③ 子ども会での「花壇づくり」に参加し、地域の環境美化に貢献する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 873 1484 952"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>65.8%</td> </tr> </table> <p>・地域の行事を紹介したり、参加を促したりしてきた。しかし、保護者・地域の肯定的回答率は、指標をそれぞれ3.5%、14.2%下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・陽子連や育成会と連携して行事の参加を促したり、参加している行事と地域との関連について説明したりして、地域の行事への理解を深めていく。</p>	児童の肯定的回答率	76.5%	保護者の肯定的回答率	65.8%
児童の肯定的回答率	76.5%						
保護者の肯定的回答率	65.8%						
	<p>B2 児童は家庭学習の習慣が身に付いている。 【数値指標】 「自分は家庭学習の習慣が身に付いている。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 低中高の実態に合わせて作成した「家庭学習のしおり」と「家庭学習ヒント集」を活用して常時指導し、基本的な学習に対する姿勢を育てる。また、課題の内容を工夫し、個に応じた取り組みができるよう支援する。しおりの配布時や授業参観後の懇談会において説明の機会を作り、より浸透させていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 1411 1484 1489"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>86.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者の肯定的回答率</td> <td>71.3%</td> </tr> </table> <p>・児童の肯定的回答率は、86.0%で、指標を6.0ポイント上回っており、昨年度と比べても2.9ポイント上回っている。保護者の肯定的回答率は、指標を下回ったが、昨年度より、2.8ポイント上回った。家庭への啓発の効果が少しずつ表れている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も引き続き、「家庭学習のしおり」や「家庭学習ヒント集」を用いて、保護者に啓発を続ける。また、学校でも、学年に応じて、自主学習の仕方などの指導を行い、進んで学習する習慣を身につけさせていく。</p>	児童の肯定的回答率	86.0%	保護者の肯定的回答率	71.3%
児童の肯定的回答率	86.0%						
保護者の肯定的回答率	71.3%						

本校の特色・課題等	<p>B3 「本とのふれ合い」を積極的に推進し、読書の楽しさを味わわせ、豊かな感性と逞しく生きる力を培う。</p> <p>【数値指標】 「自分は本を読むことや図鑑などを見ることに興味をもって、読書に親しんでいる。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 多くの本との出会いと読書の楽しさを味わわせるために、週2回の読書の時間を日課表に位置づけ、月2回ボランティアによる読み聞かせを実施していく。</p> <p>② 多読賞表彰や図書コーナーの充実（図書館日より、児童の読書の記録、おすすめの本の紹介などの掲示）により本に親しむ環境作りに努め、児童の読書意欲の向上を図る。</p> <p>③ 全教科の調べ学習に対応できるように、必要とされる時期に必要な本の整備に努める。</p> <p>④ 読書の習慣化を促すため、「家読」を家庭に呼びかける。</p> <p>⑤ 週2回の朝、図書館の開館をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>97.0%</td> </tr> </table> <p>教職員の肯定的回答率は高いが、児童は少し下回った。学年が上がるにつれて読書に親しむ子とそうでない子がはっきりする傾向が見られる。</p> <p>【次年度の方針】 今年度に引き続き読書の時間を確保しボランティアによる読み聞かせを行うなど読書に親しむ機会を設けるとともに、図書コーナーの整備やおすすめの本の紹介や「家読」の推進など環境の充実を図っていく。</p>	児童の肯定的回答率	78.2%	教職員の肯定的回答率	97.0%
	児童の肯定的回答率	78.2%					
教職員の肯定的回答率	97.0%						
<p>B4 「人とのふれ合い」の推進により、相手を思いやる心や助け合う心を養う。</p> <p>【数値指標】 「たてわり班活動では、他の学年の人とも協力しながら楽しく活動している。」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 縦割り班を主体とした活動（にっこり班活動・清掃班活動）を設定し、異学年交流の中でコミュニケーション能力を育成したり、思いやりの心や助け合う心を養ったりする。</p> <p>② 登校時のふれあい、地域の方とのふれあい、高齢者との交流、学校支援ボランティア感謝の会等様々な場面における交流活動の中で、児童一人一人のコミュニケーション能力の育成を図っていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童の肯定的回答率</td> <td>88.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員の肯定的回答率</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・児童の肯定回答率は、昨年度より3.1%下がったが、指標を8.8%上回った。縦割り班清掃や子ども集会、おおぞらタイムを使っの「にっこり班遊び」などの異学年交流を継続して行ってきたことで、協力し助け合う気持ちが育ち、人間関係が深まっている。</p> <p>・地域の方や学校支援ボランティアの方と交流する機会を、各教科や総合的な学習の時間に計画的に取り入れ、充実した学びができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続し、縦割り班活動を充実させることで、思いやりや助け合う心を更に養っていきたい。</p>	児童の肯定的回答率	88.1%	教職員の肯定的回答率	100%	
児童の肯定的回答率	88.1%						
教職員の肯定的回答率	100%						

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 学校運営の状況においては全ての項目について、十分に数値目標を達成することができたものの、教育活動の状況においては児童の言葉づかいやあいさつ、授業中における学習態度や家庭学習などの項目について肯定的割合が目標数値を下回った。
- アンケートへの自由記述や学校評価についての話し合いにおいては、以下のような意見が述べられている。
 - ・土日を含めたくさんの行事に取り組んでいただき、ありがたい。
 - ・主体的・対話的で深い学びについて、毎日の授業が「おもしろい」「楽しい」という学習になるよう更に進めていってほしい。
 - ・あいさつ・言葉づかいについては、学校・家庭・地域が互いに連携・協力して取り組んでいく必要がある。
- 今後も本校の学校運営の状況、教育活動の状況、健康・体力、学習、本校の特色などについて積極的に公表し、保護者や地域の理解が深まるように努める。また、地域や保護者からの声を学校運営に反映し、改善を図り、家庭・地域と連携した教育活動の充実を努める。

6 学校関係者評価

- 今後も、本校の学校運営の状況、教育活動の状況、健康・体力、学習、本校の特色などについて積極的に公表しながら、開かれた学校づくりに努め、今年度の取組を継続・発展させながら、学校と保護者、地域が協力・連携を図り、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- ◇次年度に向けての方向性
「安心と楽しさのある学校づくり」「ともに伸びる学校づくり」「家庭や地域から愛される学校づくり」の理念を継続し、以下の学校像を目指して全職員が学校経営に参加しながら取り組んでいく。

《確かな学力を育む学校》

○教師の授業力の向上

校内研修の充実、一人一授業の公開

だれもが楽しく、分かる・できる授業（ユニバーサルデザイン）の研究・実践

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○今後も、本校の学校運営の状況、教育活動の状況、健康・体力、学習、本校の特色などについて積極的に公表しながら、開かれた学校づくりに努め、今年度の取組を継続・発展させながら、学校と保護者、地域が協力・連携を図り、地域に信頼される学校づくりを推進する。

◇次年度に向けての方向性

「安心と楽しさのある学校づくり」「ともに伸びる学校づくり」「家庭や地域から愛される学校づくり」の理念を継続し、以下の学校像を目指して全職員が学校経営に参加しながら取り組んでいく。

《確かな学力を育む学校》

○教師の授業力の向上

校内研修の充実、一人一授業の公開

だれもが楽しく、分かる・できる授業（ユニバーサルデザイン）の研究・実践

○基本的学習習慣の定着

「ようなん授業・生活のきまり」の徹底

○家庭学習の習慣化

家庭学習のしおりを活用した家庭との連携強化

《豊かな心を育む学校》

○人権意識の向上

人権週間・いじめゼロ集会の工夫、教育相談の充実、道徳教育の充実

教職員によるいじめの早期発見・迅速な組織的対応

自己肯定感・自己有用感の向上の工夫

○基本的生活習慣の定着

「ようなん授業・生活のきまり」の徹底

○あいさつの定着

家庭・地域と連携したあいさつ運動の推進、教師の率先垂範

○場に応じた言葉づかいの定着

学級活動及び道徳教育の充実、言語環境の充実

○読書習慣の定着

読書指導の充実（読書週間・読書集会）、読み聞かせの継続、市図書館との連携

読み聞かせの継続（ボランティア・教師）、家庭の協力を得た家読の推進

《健康な身体を育み安全な学校》

○運動習慣の定着

運動意欲の向上を図る工夫（業間・休み時間の運動促進、チャレンジ種目の設定、児童主体の運動イベントの企画・実践）

○好ましい食習慣の定着

食育指導の推進及び家庭との連携（給食だより・食育ファイル、お弁当の日振り返りカードの活用）、栄養教諭による個別面談の充実

○安全に行動できる能力育成

警察や消防署、学校薬剤師と連携した授業の充実（避難訓練、交通安全教室、防犯教室、薬物乱用防止教室、喫煙防止教育、自転車免許講習、SNSやスマホ・携帯電話についての講座など）